

今日、あの時の
「またいつか…」

北高



創立70周年

第45回旭川北高等学校同窓会

旭川市中・市高 北高同窓会 総会・懇親会



とき／2010年8月14日(土)午後6時より
ところ／旭川グランドホテル
3階グランドホール【旭川市6条通9丁目】



主催／第45回旭川北高等学校同窓会実行委員会



校 歌

mf 明るく普通の速さで

あたらしいきぶんか一のはな
のさんらんとやがてかほらむみ
づき一よくやま一むらさきにめ
ぐりーたるまなびのにはよ
ふるるよろこびいざてをとりてや
むなきあゆみにまことをとめむ

校 歌

木村五一 作詞
津田甫 作曲

三、
かぐはしき緑の夕
白瑠の樹水咲く朝
眉秀で魂澄む子等が
まだにして誉を謳ふ
見よ見よ祖国の前途は新
止むなき希望に光明を添へむ

二、
遅しき腕の力は
汗あゆるその勤労の
成せる郷土豊けき穢
とこしへ榮行くこの世に生きて
止むなき教養清純を讃めむ

一、
新しき文化の華の
燐爛とやがて薰らむ
水清く山紫に
めぐりたる学びの庭よ
溢れる歡喜いざ手を把りて
止むなき向上に真理を尋めむ

今日、あの時の「またいつか」



もくじ Contents

同窓会長あいさつ	1
校長あいさつ	2
平成21年度会務決算報告	3
同窓会規約	4
札幌・東京・岩手同窓会から	5
恩師から	7
写真で振り返る「北高の70年」	11
第34期の仲間は今	15
在校生の近況	17
北高祭での同窓会の活動	18
同窓生から	19
今春の進路状況	21
部活動報告	22
同窓会役員および幹事	27
実行委員長あいさつ	29
次期当番期あいさつ	29

懐かしい出会いを大切に



北海道旭川北高同窓会長
(北高18期)川島 崇則

旭川北高等学校を卒業され、各界

ご容赦お願い致します。

願い申し上げます。

でご活躍中の皆様、いつも母校北高に温かいご支援をいただきありがとうございます。今年も同窓の皆様方のご協力のもと第45回同窓会が開催されますこととなり、当番期として周到な準備を進めてこられた飛弾野文彦さんを実行委員長とする34期はじめサブ期の皆様方のご努力にも心より敬意を表するところであります。

私こそ、昨年8月の総会で同窓会

長の指名をいただき、あつと言う間に1年が過ぎました。会長として、どれだけ同窓の皆様方のお役に立てたかわかりませんが、役員の方々と力を合わせ、精いっぱい努めさせていただきました。新米の会長ゆえ、なかにかといたらぬ点もあるうかと思いますが、同窓のよしみでなにとぞ

き節目の年にあたっており、11月6日には70周年記念式典が予定されています。この一環の記念事業として前日の5日には、匠の手を持つ天才脳外科医として世界中に知られる北高17期の旭川赤十字病院脳神経外科部長・上山博康先生による講演会や地域にゆかりのある方を招いての記念コンサートが企画され、現在、記念事業協賛会により着々と準備が進められているところです。また10年前の60周年以降の学事報告、進路状況、部活動などをまとめた記念誌「北高10年の歩み」の発刊も予定されています。記念式典及び記念事業を成功させるため、この場をお借りして同窓の皆様の力強いご協力をお

き節目の年にあたっており、11月6日には70周年記念式典が予定されています。この一環の記念事業として前日の5日には、匠の手を持つ天才脳外科医として世界中に知られる北高17期の旭川赤十字病院脳神経外科部長・上山博康先生による講演会や地域にゆかりのある方を招いての記念コンサートが企画され、現在、記念事業協賛会により着々と準備が進められているところです。また10年前の60周年以降の学事報告、進路状況、部活動などをまとめた記念誌「北高10年の歩み」の発刊も予定されています。記念式典及び記念事業を成功させるため、この場をお借りして同窓の皆様の力強いご協力をお

学校の同窓会文化



北海道旭川北高等学校 校長

釣 晴 彦

同窓会の皆様には、日頃より母校のためにご支援を賜り、心から感謝申し上げます。最近ある新聞で、沖縄についての記事が目にとまりました。沖縄に在住の北海道出身の人たちが集まり北海道同窓会もどきを作つて活動している内容です。北海道の食や文化を紹介したり親睦交流をしたりしています。このような集まりを沖縄では、「模合」と呼ばれています。沖縄独特の文化です。「模合」は「モアイ」や「モヤイ」と読まれるそうです。元々は互助的な融資システム「無尽」や「頼母子講」の仕組みで存在してきたそうですが、今はその色合いも薄れ、人々が集まつて楽しく飲んだり食べたりする親睦会になつていています。人の年齢も仕事も異なつていて集団です。

そこで、情報交換の場にもなります。この沖縄の文化と比較して見ると、学校の同窓会はどうでしょうか。どこぞの学校、学年、クラスと、同窓会の横の軸のつながりが強く、年齢が同じですから、自然に年齢が高くなり、若い世代との引継ぎがなければ、発展はなくなります。そこが、同窓会の文化の発展の難しさになります。

同窓会を意識する年齢は、若い時

はなかなか難しいものです。人生の半ばか余裕が出来て初めて意識するものです。私自身もそうです。この年齢になつて同窓生とのつながりが深まつてきましたから。同窓会の縦の軸、つまり若い層も参加出来る仕組みを工夫することが課題となつてきているようです。

本校は今年平成二十二年に創立七十周年を迎えます。十一月五、六日と記念事業が行われます。本校の卒業生は、市立から道に移管され全日制・定時制の生徒すべてを含んでこの三月で二万五千百二名になります。歴史と伝統のある本校のため、また、子ども達が旭川北高等学校を卒業した誇りと仲間の連携を高めていくためにも、同窓会の皆様の絶大なるご協力とご支援が一層必要であります。今後も宜しくお願ひします。

会務・会計報告

平成21年度会務報告

平成21年度

4月8日 ● 入学式
4月19日 ● 役員・幹事長会議（旭川グランドホテル）

6月19日 ● 会計監査
6月23日 ● 第4回役員会（旭川グランドホテル）

7月11・12日 ● 北高校祭（同窓会露店参加）
8月8日 ● 第44回同窓会総会（旭川グランドホテル）

（学校祭対応）

ゴルフコンペ

学校祭収益金贈呈

9月3日 ● 東京旭川会（同窓会サミット）出席

9月24日 ● 当番期引継会（旭川グランドホテル）

9月28日 ● 第1回役員会（旭川グランドホテル）

10月3日 ● 東京同窓会（銀座東部ホテル）

（川島会長他5名参加）

11月6日 ● 札幌同窓会（川島会長他3名参加）

12月2日 ● 北高創立70周年記念第3回打合せ会議

（北高校議室）

12月3日 ● 同窓会入会案内

平成22年度
1月30日 ● 第2回役員・幹事長会・新年会

（旭川グランドホテル）

2月28日 ● 同窓会入会式 ノースウインド17号発刊

3月1日 ● 卒業式
4月8日 ● 入学式
4月19日 ● 役員・幹事長会議（ボスター・チケット配布）

8月10日 ● 第3回役員会（旭川グランドホテル）

8月11日 ● 北高校祭（同窓会露店参加）
8月14日 ● 第45回同窓会総会（旭川グランドホテル）

ゴルフコンペ
学校祭収益金贈呈

7月

8月

10日

11日

14日

● 第45回同窓会総会（旭川グランドホテル）

● 第45回同窓会総会（旭川グランドホテル）

● 第45回同窓会総会（旭川グランドホテル）

● 第45回同窓会総会（旭川グランドホテル）

● 第45回同窓会総会（旭川グランドホテル）

● 第45回同窓会総会（旭川グランドホテル）

旭川北高同窓会平成21年度一般会計決算書

◎収入の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 練越金	107,564	107,564	0	
2 同窓会費	1,179,000	1,160,000	▲ 19,000	
(1) 入会金	510,000	512,000	2,000	256名×2,000円
(2) 終身会費	669,000	648,000	▲ 21,000	216名×3,000円
3 雑収入	180,436	180,477	41	貯金利子、同窓会資産より180,000円
合 計	1,467,000	1,448,041	▲ 18,959	

◎支出の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 総務費	1,089,000	956,440	▲ 132,560	
(1) 事務費	20,000	20,500	500	消耗品費
(2) 会議費	300,000	319,500	19,500	役員会・幹事長会等開催費
(3) 通信費	40,000	35,510	▲ 4,490	切手、はがき、電話代
(4) 印刷費	20,000	10,000	▲ 10,000	会議開催案内状等印刷費
(5) 慶弔費	30,000	22,600	▲ 7,400	香典、生花、弔電
(6) 支部活動費	330,000	345,000	15,000	東京、札幌同窓会出席者旅費、活動助成金
(7) 学校事務費	20,000	0	▲ 20,000	学校事務局謝礼
(8) 後援会費	144,000	0	▲ 144,000	学校後援会費
(9) 卒業記念品費	145,000	148,370	3,370	卒業生記念品
10) 後援会事業費	20,000	20,000	0	学校祭協力費
11) 雑支費	20,000	34,960	14,960	後援会参加諸経費、振込手数料
2 文化費	260,000	272,890	12,890	ノースウインド第17号印刷費、活動費
3 予備費	118,000	102,988	▲ 15,012	記念品代（同窓会役員退任者）
合 計	1,467,000	1,332,318	▲ 134,682	

◎支出決算

(単位：円)

収入額	支出額	残 高
1,448,041	1,332,318	115,723

残額115,723円は次年度へ繰越

◎平成21年度特別会計決算書

(単位：円)

収入の部	支出の部	残 金	
第44回総会準備金返還	300,000	第45回総会準備金貸付	300,000
北高第10期御祝儀(18名)	180,000	御招待者(北高10期生)会費	105,000
東京・札幌同窓会御祝儀	30,000	卒業50年記念品	226,170
貯金利子	461		
前年度練越金	787,230		
合 計	1,297,691	合 計	631,170

(次年度へ繰越)
666,521

◎同窓会資産

(単位：円)

累積額	平成21年度 積立額	平成21年度 支出額	合計累積額	提 要
9,187,355	249	180,000	9,007,604	積立額は郵便貯金利子、支出額は一般会計へ

◎同窓会記念事業基金

(単位：円)

累積額	平成21年度 積立額	平成21年度 支出額	合計累積額	提 要
2,042,532	200,332	0	2,242,864	積立額は郵便貯金利子と実行委員会より寄付

同窓会規約

北海道旭川北高等学校

同窓会規約

● 第5章 役員

第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、議決は出席者の過半数をもつて定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。

(2) 会計部
ア 本会の会計に関すること。

第8条 本会に次の役員を置く。

● 第1章 総則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、健合させて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもつて目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

● 第2章 事業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。

(1) 会員の親睦を図ること。
(2) 会員名簿の発行
(3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。

ただし、再選を妨げない。

各期毎1名

会計部長

会計部副部長

文化部長

文化部副部長

幹事長

会務を統理

する。

副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

第10条 第8条の役員のほか、各期名組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長これを委嘱する。ただし、定期制にあっては幹事長のみとすることができる。

幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。

副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長事故あるときはこれを代理する。

幹事は、各組の取りまとめに当たる。会計監査は、総会において会員の中から選出する。ただし、再選を妨げない。

会計監査は、本会の経理を監査する。

各役員の任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあるものとする。

顧問は、総会において推挙する。

顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

● 第4章 顧問

第6条 本会に顧問を置くことができる。

(3) 文化部
ア 会誌及び会員名簿の発行に関すること。

イ 会員の親睦を図り、文化厚生活動に関すること。

(2) 会計部
ア 本会の会計に関すること。

オ その他庶務一般に関すること。

● 第6章 総会

第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、賛否同数のときは議長これを決す。

● 第7章 役員会及び幹事長会

第14条 総会は、次のことを審議する。

第15条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長をもつて構成し、会長これを招集する。

本会の幹事長会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもつて構成し、会長これを招集する。

● 第8章 会計

第16条 役員会の議決は、出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは、議長これを決する。

会員は、役員会に出席して意見を述べることができる。

● 第9章 事務局

第17条 会員は、役員会に出席して意見を述べることができる。

会員は、役員会に出席して意見を述べることができる。

● 第10章 規約の改正

第18条 本会には、次の部会を置き会務を分担する。

(1) ア イ ワ ウ イ
総務部
総会及び役員会に関すること。
規約の改廃に関すること。
本会の涉外事務に関すること。
本会の結成及び支部との連絡調整に関すること。

第19条 第5条4項

H 9. H 7. H 8. H 9. H 12. H 13. H 14. H 15. H 16. H 17. H 18. H 19. H 20. H 21. H 22. H 23. H 24. H 25. H 26. H 27. H 28. H 29. H 30. H 31. H 32. H 33. H 34. H 35. H 36. H 37. H 38. H 39. H 40. H 41. H 42. H 43. H 44. H 45. H 46. H 47. H 48. H 49. H 50. H 51. H 52. H 53. H 54. H 55. H 56. H 57. H 58. H 59. H 60. H 61. H 62. H 63. H 64. H 65. H 66. H 67. H 68. H 69. H 70. H 71. H 72. H 73. H 74. H 75. H 76. H 77. H 78. H 79. H 80. H 81. H 82. H 83. H 84. H 85. H 86. H 87. H 88. H 89. H 90. H 91. H 92. H 93. H 94. H 95. H 96. H 97. H 98. H 99. H 100. H 101. H 102. H 103. H 104. H 105. H 106. H 107. H 108. H 109. H 110. H 111. H 112. H 113. H 114. H 115. H 116. H 117. H 118. H 119. H 120. H 121. H 122. H 123. H 124. H 125. H 126. H 127. H 128. H 129. H 130. H 131. H 132. H 133. H 134. H 135. H 136. H 137. H 138. H 139. H 140. H 141. H 142. H 143. H 144. H 145. H 146. H 147. H 148. H 149. H 150. H 151. H 152. H 153. H 154. H 155. H 156. H 157. H 158. H 159. H 160. H 161. H 162. H 163. H 164. H 165. H 166. H 167. H 168. H 169. H 170. H 171. H 172. H 173. H 174. H 175. H 176. H 177. H 178. H 179. H 180. H 181. H 182. H 183. H 184. H 185. H 186. H 187. H 188. H 189. H 190. H 191. H 192. H 193. H 194. H 195. H 196. H 197. H 198. H 199. H 200. H 201. H 202. H 203. H 204. H 205. H 206. H 207. H 208. H 209. H 210. H 211. H 212. H 213. H 214. H 215. H 216. H 217. H 218. H 219. H 220. H 221. H 222. H 223. H 224. H 225. H 226. H 227. H 228. H 229. H 230. H 231. H 232. H 233. H 234. H 235. H 236. H 237. H 238. H 239. H 240. H 241. H 242. H 243. H 244. H 245. H 246. H 247. H 248. H 249. H 250. H 251. H 252. H 253. H 254. H 255. H 256. H 257. H 258. H 259. H 260. H 261. H 262. H 263. H 264. H 265. H 266. H 267. H 268. H 269. H 270. H 271. H 272. H 273. H 274. H 275. H 276. H 277. H 278. H 279. H 280. H 281. H 282. H 283. H 284. H 285. H 286. H 287. H 288. H 289. H 290. H 291. H 292. H 293. H 294. H 295. H 296. H 297. H 298. H 299. H 300. H 301. H 302. H 303. H 304. H 305. H 306. H 307. H 308. H 309. H 310. H 311. H 312. H 313. H 314. H 315. H 316. H 317. H 318. H 319. H 320. H 321. H 322. H 323. H 324. H 325. H 326. H 327. H 328. H 329. H 330. H 331. H 332. H 333. H 334. H 335. H 336. H 337. H 338. H 339. H 340. H 341. H 342. H 343. H 344. H 345. H 346. H 347. H 348. H 349. H 350. H 351. H 352. H 353. H 354. H 355. H 356. H 357. H 358. H 359. H 360. H 361. H 362. H 363. H 364. H 365. H 366. H 367. H 368. H 369. H 370. H 371. H 372. H 373. H 374. H 375. H 376. H 377. H 378. H 379. H 380. H 381. H 382. H 383. H 384. H 385. H 386. H 387. H 388. H 389. H 390. H 391. H 392. H 393. H 394. H 395. H 396. H 397. H 398. H 399. H 400. H 401. H 402. H 403. H 404. H 405. H 406. H 407. H 408. H 409. H 410. H 411. H 412. H 413. H 414. H 415. H 416. H 417. H 418. H 419. H 420. H 421. H 422. H 423. H 424. H 425. H 426. H 427. H 428. H 429. H 430. H 431. H 432. H 433. H 434. H 435. H 436. H 437. H 438. H 439. H 440. H 441. H 442. H 443. H 444. H 445. H 446. H 447. H 448. H 449. H 450. H 451. H 452. H 453. H 454. H 455. H 456. H 457. H 458. H 459. H 460. H 461. H 462. H 463. H 464. H 465. H 466. H 467. H 468. H 469. H 470. H 471. H 472. H 473. H 474. H 475. H 476. H 477. H 478. H 479. H 480. H 481. H 482. H 483. H 484. H 485. H 486. H 487. H 488. H 489. H 490. H 491. H 492. H 493. H 494. H 495. H 496. H 497. H 498. H 499. H 500. H 501. H 502. H 503. H 504. H 505. H 506. H 507. H 508. H 509. H 510. H 511. H 512. H 513. H 514. H 515. H 516. H 517. H 518. H 519. H 520. H 521. H 522. H 523. H 524. H 525. H 526. H 527. H 528. H 529. H 530. H 531. H 532. H 533. H 534. H 535. H 536. H 537. H 538. H 539. H 540. H 541. H 542. H 543. H 544. H 545. H 546. H 547. H 548. H 549. H 550. H 551. H 552. H 553. H 554. H 555. H 556. H 557. H 558. H 559. H 550. H 551. H 552. H 553. H 554. H 555. H 556. H 557. H 558. H 559. H 560. H 561. H 562. H 563. H 564. H 565. H 566. H 567. H 568. H 569. H 560. H 561. H 562. H 563. H 564. H 565. H 566. H 567. H 568. H 569. H 570. H 571. H 572. H 573. H 574. H 575. H 576. H 577. H 578. H 579. H 570. H 571. H 572. H 573. H 574. H 575. H 576. H 577. H 578. H 579. H 580. H 581. H 582. H 583. H 584. H 585. H 586. H 587. H 588. H 589. H 580. H 581. H 582. H 583. H 584. H 585. H 586. H 587. H 588. H 589. H 590. H 591. H 592. H 593. H 594. H 595. H 596. H 597. H 598. H 599. H 590. H 591. H 592. H 593. H 594. H 595. H 596. H 597. H 598. H 599. H 600. H 601. H 602. H 603. H 604. H 605. H 606. H 607. H 608. H 609. H 600. H 601. H 602. H 603. H 604. H 605. H 606. H 607. H 608. H 609. H 610. H 611. H 612. H 613. H 614. H 615. H 616. H 617. H 618. H 619. H 610. H 611. H 612. H 613. H 614. H 615. H 616. H 617. H 618. H 619. H 620. H 621. H 622. H 623. H 624. H 625. H 626. H 627. H 628. H 629. H 620. H 621. H 622. H 623. H 624. H 625. H 626. H 627. H 628. H 629. H 630. H 631. H 632. H 633. H 634. H 635. H 636. H 637. H 638. H 639. H 630. H 631. H 632. H 633. H 634. H 635. H 636. H 637. H 638. H 639. H 640. H 641. H 642. H 643. H 644. H 645. H 646. H 647. H 648. H 649. H 640. H 641. H 642. H 643. H 644. H 645. H 646. H 647. H 648. H 649. H 650. H 651. H 652. H 653. H 654. H 655. H 656. H 657. H 658. H 659. H 650. H 651. H 652. H 653. H 654. H 655. H 656. H 657. H 658. H 659. H 660. H 661. H 662. H 663. H 664. H 665. H 666. H 667. H 668. H 669. H 660. H 661. H 662. H 663. H 664. H 665. H 666. H 667. H 668. H 669. H 670. H 671. H 672. H 673. H 674. H 675. H 676. H 677. H 678. H 679. H 670. H 671. H 672. H 673. H 674. H 675. H 676. H 677. H 678. H 679. H 680. H 681. H 682. H 683. H 684. H 685. H 686. H 687. H 688. H 689. H 680. H 681. H 682. H 683. H 684. H 685. H 686. H 687. H 688. H 689. H 690. H 691. H 692. H 693. H 694. H 695. H 696. H 697. H 698. H 699. H 690. H 691. H 692. H 693. H 694. H 695. H 696. H 697. H 698. H 699. H 700. H 701. H 702. H 703. H 704. H 705. H 706. H 707. H 708. H 709. H 700. H 701. H 702. H 703. H 704. H 705. H 706. H 707. H 708. H 709. H 710. H 711. H 712. H 713. H 714. H 715. H 716. H 717. H 718. H 719. H 720. H 721. H 722. H 723. H 724. H 725. H 726. H 727. H 728. H 729. H 720. H 721. H 722. H 723. H 724. H 725. H 726. H 727. H 728. H 729. H 730. H 731. H 732. H 733. H 734. H 735. H 736. H 737. H 738. H 739. H 730. H 731. H 732. H 733. H 734. H 735. H 736. H 737. H 738. H 739. H 740. H 741. H 742. H 743. H 744. H 745. H 746. H 747. H 748. H 749. H 740. H 741. H 742. H 743. H 744. H 745. H 746. H 747. H 748. H 749. H 750. H 751. H 752. H 753. H 754. H 755. H 756. H 757. H 758. H 759. H 750. H 751. H 752. H 753. H 754. H 755. H 756. H 757. H 758. H 759. H 760. H 761. H 762. H 763. H 764. H 765. H 766. H 767. H 768. H 769. H 760. H 761. H 762. H 763. H 764. H 765. H 766. H 767. H 768. H 769. H 770. H 771. H 772. H 773. H 774. H 775. H 776. H 777. H 778. H 779. H 770. H 771. H 772. H 773. H 774. H 775. H 776. H 777. H 778. H 779. H 780. H 781. H 782. H 783. H 784. H 785. H 786. H 787. H 788. H 789. H 780. H 781. H 782. H 783. H 784. H 785. H 786. H 787. H 788. H 789. H 790. H 791. H 792. H 793. H 794. H 795. H 796. H 797. H 798. H 799. H 790. H 791. H 792. H 793. H 794. H 795. H 796. H 797. H 798. H 799. H 800. H 801. H 802. H 803. H 804. H 805. H 806. H 807. H 808. H 809. H 800. H 801. H 802. H 803. H 804. H 805. H 806. H 807. H 808. H 809. H 810. H 811. H 812. H 813. H 814. H 815. H 816. H 817. H 818. H 819. H 810. H 811. H 812. H 813. H 814. H 815. H 816. H 817. H 818. H 819. H 820. H 821. H 822. H 823. H 824. H 825. H 826. H 827. H 828. H 829. H 820. H 821. H 822. H 823. H 824. H 825. H 826. H 827. H 828. H 829. H 830. H 831. H 832. H 833. H 834. H 835. H 836. H 837. H 838. H 839. H 830. H 831. H 832. H 833. H 834. H 835. H 836. H 837. H 838. H 839. H 840. H 841. H 842. H 843. H 844. H 845. H 846. H 847. H 848. H 849. H 840. H 841. H 842. H 843. H 844. H 845. H 846. H 847. H 848. H 849. H 850. H 851. H 852. H 853. H 854. H 855. H 856. H 857. H 858. H 859. H 850. H 851. H 852. H 853. H 854. H 855. H 856. H 857. H 858. H 859. H 860. H 861. H 862. H 863. H 864. H 865. H 866. H 867. H 868. H 869. H 860. H 861. H 862. H 863. H 864. H 865. H 866. H 867. H 868. H 869. H 870. H 871. H 872. H 873. H 874. H 875. H 876. H 877. H 878. H 879. H 870. H 871. H 872. H 873. H 874. H 875. H 876. H 877. H 878. H 879. H 880. H 881. H 882. H 883. H 884. H 885. H 886. H 887. H 888. H 889. H 880. H 881. H 882. H 883. H 884. H 885. H 886. H 887. H 888. H 889. H 890. H 891. H 892. H 893. H 894. H 895. H 896. H 897. H 898. H 899. H 890. H 891. H 892. H 893. H 894. H 895. H 896. H 897. H 898. H 899. H 900. H 901. H 902. H 903. H 904. H 905. H 906. H 907. H 908. H 909. H 900. H 901. H 902. H 903. H 904. H 905. H 906. H 907. H 908. H 909. H 910. H 911. H 912. H 913. H 914. H 915. H 916. H 917. H 918. H 919. H 910. H 911. H 912. H 913. H 914. H 915. H 916. H 917. H 918. H 919. H 920. H 921. H 922. H 923. H 924. H 925. H 926. H 927. H 928. H 929. H 920. H 921. H 922. H 923. H 924. H 925. H 926. H 927. H 928. H 929. H 930. H 931. H 932. H 933. H 934. H 935. H 936. H 937. H 938. H 939. H 930. H 931. H 932. H 933. H 934. H 935. H 936. H 937. H 938. H 939. H 940. H 941. H 942. H 943. H 944. H 945. H 946. H 947. H 948. H 949. H 940. H 941. H 942. H 943. H 944. H 945. H 946. H 947. H 948. H 949. H 950. H 951. H 952. H 953. H 954. H 955. H 956. H 957. H 958. H 959. H 950. H 951. H 952. H 953. H 954. H 955. H 956. H 957. H 958. H 959. H 960. H 961. H 962. H 963. H 964. H 965. H 966. H 967. H 968. H 969. H 960. H 961. H 962. H 963. H 964. H 965. H 966. H 967. H 968. H 969. H 970. H 971. H 972. H 973. H 974. H 975. H 976. H 977. H 978. H 979. H 970. H 971. H 972. H 973. H 974. H 975. H 976. H 977. H 978. H 979. H 980. H 981. H 982. H 983. H 984. H 985. H 986. H 987. H 988. H 989. H 980. H 981. H 982. H 983. H 984. H 985. H 986. H 987. H 988. H 989. H 990. H 991. H 992. H 993. H 994. H 995. H 996. H 997. H 998. H 999. H 990.

旭川駅の歴史と未来



旭川北高校札幌同窓会会长

中 島 尚 俊
(北高15期)

新たな旭川の顔となる新駅舎の工事は10月の使用開始に向け、最終段階を迎えています。

旭川の鉄道の歴史は、明治29年に北海道官設鉄道上川線（空知太・旭川間）の建設工事が着工され、明治31年7月の開通とともに初代駅舎及び旭川工場が使用開始となつたことに遡り、道北・道東の発展を支える交通の要衝としての役割を担い続けてきました。

大正2年には2代目駅舎、昭和35年には現在の3代目駅舎が完成し、

それぞれの時代を先導する街の顔として親しまれていますが、「北彩都あさひかわ」の主要事業である鉄道高架に伴い、高架駅舎として新たに生まれ変わることとなりました。

現在の駅舎から南側に約70m後退した位置に建設される新駅舎は、南北の広場からのアクセスに考慮して東西2箇所に改札口を設けるとともに、ホーム階に連絡するエレベーター

札幌 東京 岩手から…

一やエスカレーターを設置して、バリアフリーに配慮した利用しやすい駅となります。

駅舎南北面の外装はガラスで覆い、駅南側の忠別川の「自然」と駅北側の「まち」を連続的に繋ぐとともに、特徴的な4支柱（4本の鋼管で構成された柱）が支える大屋根を配したダイナミックな空間のホーム階から大雪山系や忠別川を望むことができます。

また、内装材には北海道産の木材を多用するとともに、市民などによる実行委員会が全国から募集した1万人の名前が刻印された板材を改札内コンコースの内壁に配するなど、「温もり」と「優しさ」を感じられる内部空間が創出されます。

新駅舎は本年10月10日の高架開業により4代目駅舎としてスタートを切り、その後、外装等の工事を継続して進め、平成23年秋のグランドオープニングを予定しています。

忠別川のせせらぎが聞こえる全国的にも珍しいロケーションに誕生する「川のある駅」は、市民が集い、地域の誇りとなり、旅人の記憶に残るステージとして、旭川の街の未来

を先導するシンボルとなるものと信じています。

◆ ◆ ◆

「東京同窓会近況」

旭川北高校東京同窓会会长
丹 保 冬 司 夫
(北高13期)

今年度から十期河原さんより会長を引き継ぎました。微力ながら東京同窓会発展・継続のため役員、期幹事と力を合わせて行きたいと思います。

隔年開催の「東京の集い」は、昨年第十四回を終了しましたが、会の様子、現状等報告します。出席人数は前回とほぼ同じ百二十余名で、二百四十人出席の第一回（昭和五九年）が懐かしく思われます。

12期口石博子（旧姓・辻）さんの軽妙な司会で開演し、各所で先輩、後輩の和やかで楽しい輪が広がり、会場にはメンバーによるアトラクション。司会の口石さんの語りべ「花咲き山」に耳を傾け、11期佐林さんの「ガマの油売り」の口上に笑い、11期沢田さんの絶妙な進行によるビンゴゲームでの故郷名産品先取りで大盛り上がり、最後は協賛して頂いたエアドウさんの、旭川往復航空券争奪、大ジャンケン大会で又盛り上がり。締めは浦木幹事長の音頭で校歌・応援歌であつという間の2時間が経過し、次回の再会約し閉会となる。青春を思い出させるこのひと時、未参加の皆さんにも是非味わ

様の組織でも同じような現象で人集めに苦労しているのを見聞きます。私見ですが、徐々に故郷・母校愛が稀有になりつつあり、又個人情報保護により名簿等の作成がままならぬのも一因かもしれません。今後、より1期でも下の掘り下げと、今まで参加されてない人の勧誘が我々の仕事であると認識します。

さて、前回の集いの会にふれましょ。

つて欲しいものです。最後に嬉しい話ですが、先日、在京の旭川出身の大学生から最近の北高の進学状況に見張るものがありますねとの会談。会報、校長から見聞きはしたもののがうらしく、嬉しく思つた次第です。併せて文化・運動面での活躍を期待し「文武両道」に長けた北高校にならんことを祈ります。

15回東京の集いは、23年秋を予定しています。

希望進学校の選択に当つては、学制改革の施行の関係もあり、地域限定の高校にしか、受験が出来ない状況でした（農業・工業・商業各校は、選択が自由でした）。

入学当時の学校の風景は、木造2階建「コの字型」で、正面に向つて右には「旭川市営球場（現スターハンボール場）」、左には「旭川競馬場（旧法務局）」があり、特に2階での授業の時は、野球・競馬を見る事が出来る楽しみも有りました。

祝「我が母校・旭川北高等学校」



旭川北高校岩手同窓会会长

牛 崎 鎧 二
(北高6期)

学校（★・●・■）創立七十周

年、人生で云うと「古希」に当たる意義ある区切りで誠に嬉しい限りであります。

又、同窓会も設立四十五周年と二重の喜びであり、当会一同として心より、お祝い申し上げます。

当同窓会の最近の活動は、健康上のこと、年齢のこと、又亡くなられた方もあり、中々開催するのが困難な状態で、近況報告等が出来ない事を深くお詫び致します。

そこで、北高入学前後（昭和二十八年）の世相等について思い出し乍ら綴つて見たいと思います。

当時の高校進学に対する世間一般の関心は非常に薄く、就職希望者の

方が大変に多かつた時代でした。

希望進学校の選択に当つては、学制改革の施行の関係もあり、地域限定の高校にしか、受験が出来ない状況でした（農業・工業・商業各校は、選択が自由でした）。

入学当時の学校の風景は、木造2階建「コの字型」で、正面に向つて右には「旭川市営球場（現スターハンボール場）」、左には「旭川競馬場（旧法務局）」があり、特に2階での授業の時は、野球・競馬を見る事が出来る楽しみも有りました。

その他、後ろには、「陸上競技場」「テニスコート」「水泳プール」等スポーツ施設に囲まれた、本当に素晴らしい環境に恵まれた地区でした。

又、当時は正面門前の国道上を「市電」が走つて居り、振り返つて見ると非常に懐かしい風景が思い出されます。

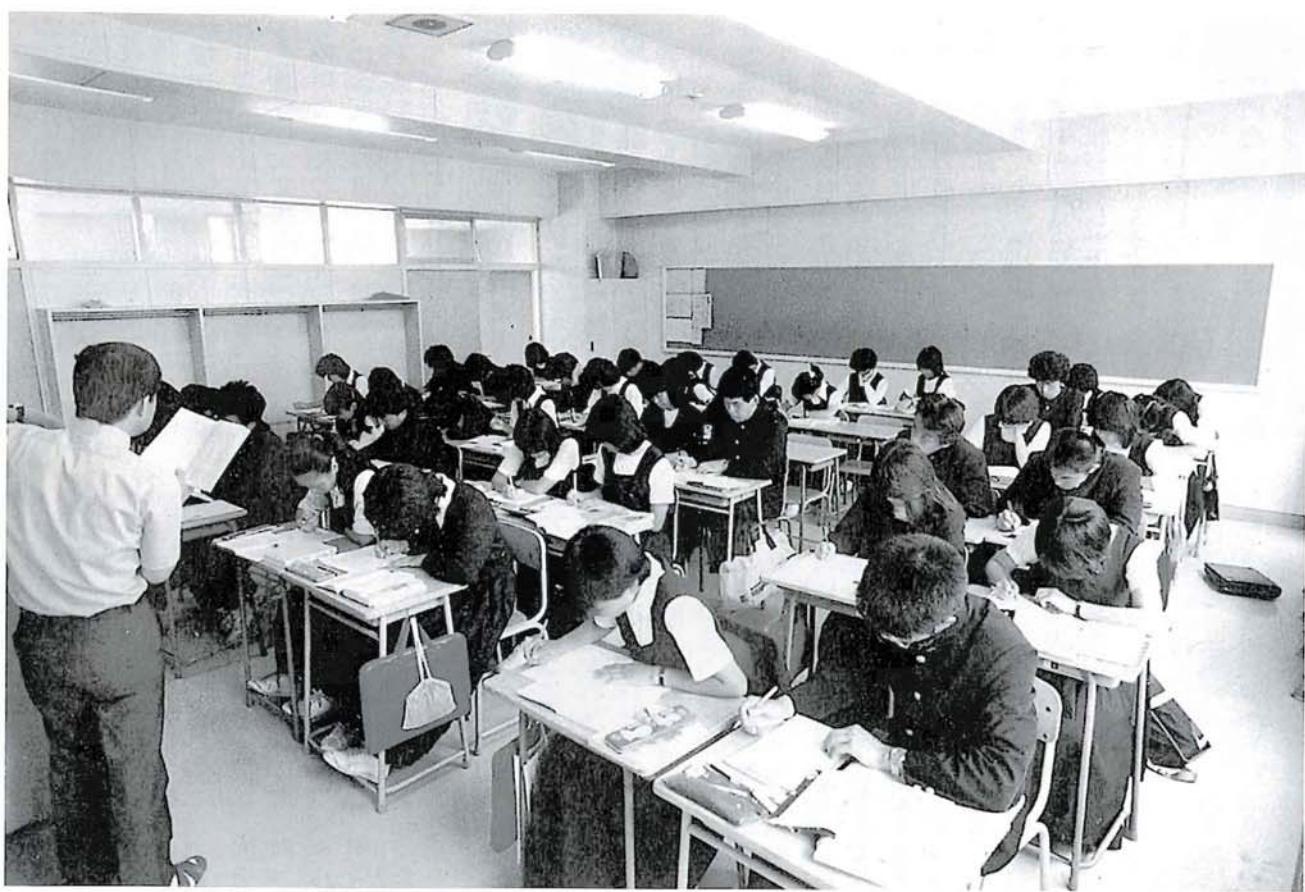
この様な良い環境の中で三年間「学校・恩師・学友」にも恵まれた時期（空間）を経て半世紀を過ぎ、心身共に健全で現在に至つていることに満足して居るところです。

「北高」も、今後何十年と歴史を重ねて行く訳ですが、この伝統ある学校の卒業生（同窓生）の一員である事に大いに誇りに感じて居るところです。

最後に、長嶋茂雄氏の言葉の「パクリ」ですが「我が旭川北高等学校は、永遠に不滅」です。



旭川市立中学校・旭川市立高等学校・旭川北高等学校の旧校舎



5組担任の川村勉先生におかれましては、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

教員生活、三十九年目を迎えております。旭川北高校十三年、江別高校、当別高校、そして札幌南高校十三年、再任用で生まれ故郷の美唄でも終え、自宅のソファーアーに腰を下ろす時間がもてるようになりました。教員生活の思い出を整理していると、沢山のアルバム、ビデオテープ、文集、手紙、そして球技大会で作つてもらったTシャツや旗、なつかしい日々を思い出させる学級だより、学級日誌、担任日記などに目を通し、同窓会誌の原稿を書きながら、出会いの瞬間を楽しみに、当日前まで、担任生活を振り返つてみたいと思います。

私が、旭川北高校を三十五年前勤務する際、北高新聞のインタビューの中で、「北高で印象に残つたことは?」の質問に対し、「良い生徒に恵まれ、先生をやつてて良かったと切実に思っています。」「これから抱負は?」の質問に、「今まで同様、笑顔を忘れず全力で頑張りたい。」と書いてありました。その思いで、笑顔を大切にしてまいりました。

2組



生き方に引退はない

吉田 裕子

中学時代から夢であつた体育教師になることができ、教育という仕事の中で、素晴らしい教え子たちに恵まれ、札南では、親子二代の教え子もでき、退職まで見守つていただき、人ととの出合い、別れの中にも、私の心に深く染みている人生模様があります。人生何があるかわかりませんが、これからは、多くのお世話になつた方々、教え子との絆を大切に、前向きな姿勢で、家族共々、笑顔で健やかな毎日を暮らせる自分でいたいと思います。

退職後は、日頃、生徒に伝えてきた「人は、一生、心身共に健康に生きることが幸せに生きることである。」という願いを叶えるため、生涯体育の指導をしていきたい。そして、何でも話し合い、助け合つて生きる「サロンゆうこ」をつくりたい。

「生き方に引退はない。」そんな生き方をしていきたい。教師になつて本当によかつた。そう思える自分になることができたのは、皆さんとの出会いがあつたからです。心からありがとうございます。

北高在職中ひそかに自転車の旅を始めました。和田サイクルの店主和田さんが薦めてくれた片倉シルクのランドナーが今も乗っている私の愛車です。思えば、七十年代から八十年代前半がランドナーがおおいに栄えた時期で、最近また復活の兆しが見えてきました。

一回目は石狩川の堤防を早朝に出発し、苫小牧を経由して室蘭からフエリーに乗り、青森から仙台を目指して南下しました。途中で気が変わりさらに仙台から東京を目指しました。以来、夏休みになると毎年のように自転車の旅を計画したものであります。ある年は山岳部の部長の米村君と二人で北海道一周を十三泊十四日でやつたり、鷹栖高校、野幌高校に転勤後も日本全国あちこち走り回りました。

野幌高校で定年を迎える、年金の關係で恵庭北高に再任用で一年間勤めたあと教師業を廃業しました。最初は一人旅でしたが、鷹栖高校在職中から旭川地区の高校山岳部の顧問仲間の二人とのトリオになりました。



「ふたたび自転車一人旅」

石岡勝義

トリオ・ロス・シイクリスタアス・マジョレス（スペイン語？）で「爺さん自転車三人組」の意です。このトリオは三人の退職後も続きましたが、そのうちの一人が心臓にペースメーカーが入つて激しい運動ができなくなり、残念ながらトリオを解消また一人旅です。

一回目は石狩川の堤防を早朝に出発し、苫小牧を経由して室蘭からフエリに乗り、青森から仙台を目指して南下しました。途中で気が変わりさらに仙台から東京を目指しました。以来、夏休みになると毎年のように自転車の旅を計画したもので、ある年は山岳部の部長の米村君と二人で北海道一周を十三泊十四日でやつたり、鷹栖高校、野幌高校に転勤後も日本全国あちこち走り回りました。

四年前まだ走つていかない箇所を繋げる日本一周の旅に出かけました。四十一日間、仙台から海岸線を南下し、三浦半島・伊豆半島・紀伊半島・四国を一周して和歌山に戻り、そこから姫路までほぼ完全に日本を一周しました。天候が最も安定している四月下旬から五月いっぱい。四国でクラシックの軸受けが摩滅してギアチエンジ不能になりましたが、応急処理をどこして何とか完走できました。帰宅後部品をかなり取替えまし

さて、その後は八インチと二十インチの折り畳み自転車を購入し、電車での輪行の旅がテーマとなりました。老後のヒマつぶしです。



青春

藤見弘道

つようによつた第一歩を「春」の時代とよび、その生活の内実を「青」という色彩になぞらえたと、これが「青春」の語源であり、その意味するところは、「悩み、時代」である、と。同様に、中年を「夏」の時代とよび、その時代を「朱」色と重ねてこう意味づけたと、「さかり、働き、朱夏」と、次にやつてくるつまり、「朱夏」と、次にやつてくる時代、それは「白秋」であるとよんだ。そなたは、淡々として淡く人生を語る時代であると解した。そして「冬」の時代、それは身体が弱り我が人生に徐々にではあつても見え隠れし人生の終わりを意識せずにはおれない時代と考へてのことでしょうか。「玄冬」の時代とよんだといいます。

このように、我々の先達は、見事に人生を青春、朱夏、白秋、玄冬」と色で表しています。各々の色の時代を健康で明るく過ごして生きたいのですね。私は今、「白秋」の時代でしょうか? ごく僅かな畑に野菜作りなどをし、毎日を過させて貰つております。

「青春期」なる言葉とも重ね合わせられ、青春時代のど真ん中にいるの34歳生の方々は、現在、朱夏の真っ只中でしょう。正に働き盛り、家庭に仕ます。総合云では昔を懐かしみ、同窓会が高校時代ですね。当番幹事さんの中全員で合唱される情景に思いを寄せつづけます。総合云では昔を懐かしみ、同窓会が高校時代ですね。当番幹事さんの中全員で合唱される情景に思いを寄せつづけます。



高齢者のつぶやき

原 順一

旭川北高等学校同窓会が、今年も盛大に開催されることに対し、心よりお慶び申し上げます。特に第34期生の皆さんのが中心となって行われるとうかがい、素晴らしい同窓会になつたことでしょう。

6月中旬、与板博志君の奥様から、お電話をいただき、その後、原稿依頼とご招待状が届きました。第34期卒業生からのご案内であることが分かり、皆さんと出会いながら、30近くの年月が経つていたことに驚いた。歳月の流れの速さを、改めて実感しました。

退職をして10年が経ちました。退職直後に自分は、かなり教育者としての道から外れた教員であつたことに気づいた。ときどき、夢の中で、過去の失敗や間違いに悩まされ、そのため、自分の歩んできた道を、早く忘れるにした。このようなわけでも、皆さんと過ごした時代を、すぐ思い出すことができない。

北高には、昭和46年から昭和61年までお世話をになりました。第34期生は昭和59年卒業生。当時、1学年10ヶ月

ラス、まだホームルームは45人で、校内は賑やかで活力が満ち溢れ、共通一次試験があつて、進路指導に大いに悩んだ時代であつたと思う。当時の諸君は、実にたくましく、大変な努力を積み重ね、多くの皆さんが希望の上級学校へと進んで行つたのを覚えていた。今日でも、社会の中堅として活躍されていることでしょう。

自分は、今年70歳。健康に恵まれ、所属する団体でボランティアをしています。また、近所の高齢者との交流を深め、互いに支え合つて生きています。自分に残された時間を少しでも地域に役立てようと努めています。

「夢、再会」はなりませんでしたが、第34期生の皆さんのが今後ますますの発展とご多幸をお祈り申し上げ、高齢者のツブヤキを終わります。

ソフトボール部を創り、高校生活最後の思い出に、一度高体連の大会に出場したいので指導をして欲しいけれど、皆さんと過ごした時代を、すぐ思い出すことができない。

北高には、昭和46年から昭和61年までお世話をになりました。第34期生は昭和59年卒業生。当時、1学年10ヶ月

本校に赴任して初めて三年間担任したクラスが、英語科の九組でした。その頃、大失敗をしました。「北高校の村山先生、父兄が来ていますので至急学校にお戻り下さい」、野球場に放送が流れました。夏の地区予選大会で、本校が試合をしていました。中盤で2点くらいリードされたまゝ、試合は進んでいました。飛んで帰ると、懇談予定のお母さん二人が、教室で待っていました。平身低頭して謝りました。すると、「先生、懇談は野球場で」と。未熟者でしたから、この誘惑に負けて、三人で急いで球場に行きました。着くとすぐ、本校の猛反撃が始まり、あつという間に大逆転しました。・・・水清く山紫にめぐりたる学びの庭よ・・・

スタルヒン球場に北高校の校歌が、高らかに鳴り響きました。

四十一歳から定年まで十九年在職していた北高校を、七十二歳の爺さんになつた今も、時折、懐かしく思ひ出しています。



思い出

村山 知彦

に負けて顧問になりました。他校との練習試合も間に合わず、男子生徒や先生方に協力してもらい、実戦練習をしました。試合は、何点とられても大きな声を出し、最後まで元気にプレーしました。点が思わぬこと

10組



思えば長生きしたものだ！

北畠敏郎

毎日が日曜日、暇をもてあまして
いる。買物公園を歩くと下校途中の
北高生に出会う。数十メートル離れ
制服やバッジが見えなくとも雰囲気
から大体わかる。理由は特にない。
私は今年八十才になる。正確には七
月で八十才と五ヶ月。日本の男性の
平均寿命が七十九才と二ヶ月だとい
うから、同年配の者は半分が亡くな
っている計算になる。

今から六十五年前、私は十五才旧
制中学4年、日本製鋼所府中工場に
勤労動員されていた。朝六時起床ラ
ッパ、寮の前を流れる多摩川の川原
に集合してラジオ体操をする。それ
から朝食、黒パン一切れと切り干し
大根が入つて味噌汁。食事が終
ると、中河原駅まで歩く。電車に
乗れる朝は運の良い方で、前夜東京
がB29に爆撃された時は新宿発の京
王線は不通になる。私鉄は駅間の距
離が短いから歩いてもたいしたこと
はない。一時間で工場に着く。門に
は着剣した兵士が立っている。歩調
とれ！かしら右！の号令で御真影の
宝物殿の前を過ぎる。仕事は高射砲

を取り付ける台座のねじ穴を螺旋状
に刻むことだ。昼食は会社の食堂だ
が、人参・大根の葉っぱなど乾燥野
菜に大豆と米粒が混ざっている。お
かずは切り干し大根の煮つけである。
日本には大根ぐらいしかなかつたの
だろう。仕事は午後4時に終わる。
夕食は塩ゆでしたジャガイモ2切れ。
日本が連合国に無条件降伏した8月
15日まで寮でも会社の食堂でも肉や
魚でのことは一度もない。当時の
日本人は栄養失調で電車を待つ間も
ホームに立つことができず地面に坐
っていた。

その日は朝から晴れわたり暑い日
だった。広場に従業員全員が整列し
た。アメリカの空母から発進したグ
ラマン戦闘機の攻撃は12時ぴったり
と止んだ。ラジオは良く聞きとること
ができるなかつた。耐え難きを耐え、
忍びがたきを忍び、天皇陛下の御言
葉が流れた時、ああ！日本は負けた
んだと解つた。



今年は、北海道旭川北高等学校の創立70周年にあたります。そこで、この70年を写真で振り返ることにより、同窓会の皆様には、過去をなつかしんでいただき、また、来年卒業される生徒のみなさんには、北高の歴史の一端を知っていただけるとうれしいです。



昭和15年
旭川市立中学開校当時の仮校舎



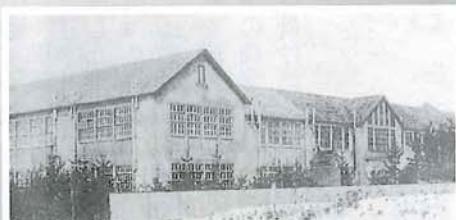
昭和15年
旭川市立中学校開校式（現旭川市立明星中学校）



勤労作業



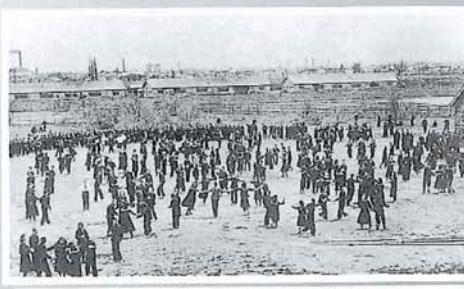
昭和17年
旭川市立中学校新校舎落成式



昭和16年
仮校舎を旭川大有小学校に変更
(現旭川市立大有小学校)



昭和28年
高松宮様御覧のスキー授業



昭和25年 男女共学開始
(この年、名称を北海道旭川北高等学校
に改め、通学区域制が導入される。)



昭和19年
予科練入隊者（旭川駅前にて）

写真で振り返る北校の70年



昭和33年
NHK全国唱歌ラジオコンクール全国大会2位



昭和32年 家庭科新設



昭和35年
開校20周年記念式典



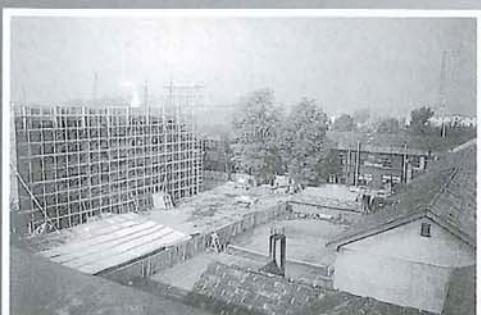
昭和35年
第42回全国高等学校野球選手権大会
(甲子園)に出場



昭和44年 屋内体育館完成



昭和43年
定時制第1回生 修学旅行



昭和54年
新校舎落成(写真は校舎改築工事)

30年ぶりの修学旅行
旧旭川市立中学4回生

胸をはずませ
50人
バスで生き生き...思い出話

この度、30年ぶりに修学旅行を行なうことを決意した。これまでの経験をもとに、新しい視点で見直す機会となることを願っている。また、この機会を利用して、これまでの経験をもとに、新しい視点で見直す機会となることを願っている。

昭和53年
市中4期生 30年ぶりの修学旅行



昭和45年 英語科の設置



昭和54年 遠足の風景



昭和54年 新校舎



昭和62年
宿泊研修（国立日高青少年自然の家）



昭和54年 第25回北高祭



平成2年
創立50周年記念式典（総合体育館）



平成元年 校内球技大会



昭和63年 見学旅行



平成9年
宿泊研修（富良野岳登山）



平成6年 新体育館



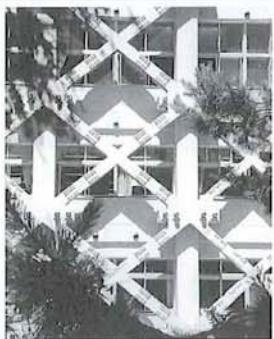
平成11年 音楽大行進



平成11年 市中第5期生 半世紀ぶりの修学旅行



平成12年
第31回全国高等学校バレー選抜優勝大会出場



平成11年
校舎耐震補強工事



平成11年
第1回体育大会（チームジャンプ）



平成20年
見学旅行（広島 平和祈念公園）



平成16年
第86回全国高等学校野球選手権大会(甲子園)に出場



平成21年 第56回北高祭



平成20年 勉強合宿

北高の70年を写真で振り返ってみましたが、懐かしんでいただけましたか。北高からお預かりした資料をもとに、担当者が勝手に36枚の写真を選ばせていただきましたが、北高の歴史のほんの一端をご紹介したにすぎません。これからも後輩たちの手で、北高の古き良き伝統を引き継いでいただきながら、新しい伝統を築きあげていってほしいものです。

第34期の 仲間は今



河野好信氏のプロフィール

1984年 旭川北高校卒業
明治大学卒業後
1989年 札幌テレビ放送に入社
アナウンサー報道部記者を
経てニュースデスク
2004年から2006年まで日本
テレビ出向
その後、報道制作局報道部
副部長を経て現在は、報道
制作局情報制作部副部長

北高時代のこと

高校生活の思い出

3年間で毎年 クラスは変わったんですが、印象に残っているのは3年生だった時のクラスですね。

それがしっかりしていて自分を持つている！？

でも、いがみ合わない、自由な雰囲気と言う感じで、居心地はよかったです。スポーツ、文化、どちらもクラス全体が一丸となって取り組む所があったと思います。

つまり、まとまっていたということですね。

学校祭に向けて、確か戦争をテーマにした展示をするのに、取材に行ったりしたことを覚えています。

受験の年でしたが（と言っても結果的に1浪しましたが）何だか ホッとできるクラスでした。

大学時代の思い出

サークル

東京の明治大学で4年間過ごしたんですが、サークルは放送研究会に入りました。

以前から社会に出たら放送業界で働きたいと言う思いがあつて入りました。

放送局に入るべく毎日精進していましたと言いたい所ですが、結局 勉強は程々・・・授業が終わると毎日のようにサークルの友人たちと遊んでいました。

でも このサークルのお陰で、卒業してからも交流が続くいい友人たちができました。大学を卒業してからもう20年以上たちますが未だに、10人くらいで毎年会っています。

アナウンサー時代

STVにはアナウンス職で入社し、7年間アナウンサーとしてテレビ、ラジオでしゃべっていました。

今思えば、この間、「人に伝える事」という面で、放送人としての基礎を学んだような気がします。

番組の関係で、普通では会えない色んな人に会ってお話を伺えたり、楽しい時代でした。



報道部でのこと

アナウンス部から報道部に移り、最初は報道記者として現場でのリポートや取材を7年やりました。

その後は「ニュースデスク」という、その日どんなニュースを皆さんにお届けするか考え、記者に指示をして取材させニュースを最終的に出稿していく仕事をやっています。

平穏な時はいいんですが、いざ大きなニュースが入ってくると報道フロアは一変します。

最近では鳩山首相が突然辞めると言うニュースがありました。地元選出の国会議員とあって夕方6時16分から放送している「どさんこワイド道内ニュース」では全面展開しようということになり、本当はその日伝えようとしていたニュース項目を全てやめて、項目をゼロから組み立て直して、記者へも指示を出し直し。

放送本番中にも東京から鳩山首相の会見が入ってきて、それを最優先で入れるべくVTRを放送途中でやめたりと、「ぞっ」とするほど大変でした。

でもバタバタしながらも、放送が始まつてそれが上手くいった時は疲れた中にも満足感があり、この仕事をやっていて良かったなと思う日々です。

東京でのこと

東京でのこと

今から6年ほど前に、朝の情報番組「ズームインスーパー」のニュース担当として1年半、東京・日本テレビに出向していました。

役割は札幌でやっていたのと同じ「ニュースデスク」です。

同じニュースとは言え、札幌と東京では扱うニュースの感覚が大きく違います。

日本国内はもとより世界中から入ってくるニュースの中で何をどの順番でどう伝えていくのか・・・最初

は戸惑いましたが、やがて慣れると醍醐味を感じました。でも勤務はきつかったなー。

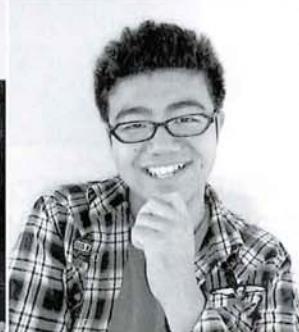
朝の番組のため夜から朝にかけてが一番忙しい時間。仮眠なしの徹夜勤務だったので・・・

とは言うものの、東京生活は大学卒業後、随分久しぶりだったんで、休日には、あちらこちら首都圏中を歩き回っていました。

職場が汐留だった関係で、銀座まで歩いて20分くらいの、東京のど真ん中に住まわせてもらっていましたし、楽しかったです。



在校生の近況



プロフィール

長濱 司 君

1994. 1. 18生

東神楽町生まれ、現在旭川北高等学校2年生

4歳より関音楽教室にて電子オルガン、9歳よりピアノをはじめる。



コンクール・コンサート歴

- 2001年 小1 カワイこどもコンクール ドリマトーン部門 旭川地区大会 入選
- 2002年 小3 第12回 RMSオルガンミュージックフェスティバル 全国大会 小学生部門 最優秀賞
第13回ローランドオルガンフェスティバル 東京会場にて出演
- 2003年 小4 第13回 RMSオルガンミュージックフェスティバル 北海道地区大会 中高生部門 優秀賞
- 2004年 小5 第14回 RMSオルGANミュージックフェスティバル 北海道地区大会 中高生部門 最優秀賞
第37回カワイ音楽コンクール ドリマトーン ジュニアB部門 全国大会出場
ローランドフレンドリーコンサート 札幌会場にて出演
- 2005年 小6 第15回 RMSオルGANミュージックフェスティバル 全国大会 中高生部門 最優秀賞
第16回ローランドオルGANフェスティバル 大阪会場にて出演
ローランドUS主催 オルGANパワーコンサート・ミュージックパワーコンサート（ロサンゼルス）出演
小学校卒業記念リサイタル
- 2006年 中1 ローランド芸術文化振興財団 マスタークラス 1期生修了
風／息／音 新しいオルGANの世界(東京・府中) 出演
- 2007年 中2 第6回 RMSファンタスティック・ピアノコンクール 決勝大会 中高生の部 優秀賞
- 2008年 中3 第7回 RMSファンタスティック・ピアノコンクール 決勝大会 中高生の部 最優秀賞
ローランドフレンドリーコンサート 東京会場にて出演
- 2009年 高1 第19回 RMSオルGANミュージックフェスティバル 全国大会 中高生部門 優秀賞
ローランドフレンドリーコンサート 大阪会場にて出演
- ※2010年 高2 8月 大阪・千葉 来年2月 旭川 にてボーイズ&ガールズコンサート 企画・出演

本日の同窓会懇親会のアトラクションにおいて、長濱 司君に「スーパーマン」「さくらさくら」など4曲ほどエレクトーンで演奏していただく予定です。
どうぞ、お楽しみに！

みなさんご存知でしたか?

同窓会の方々にお手伝いをいただいている。



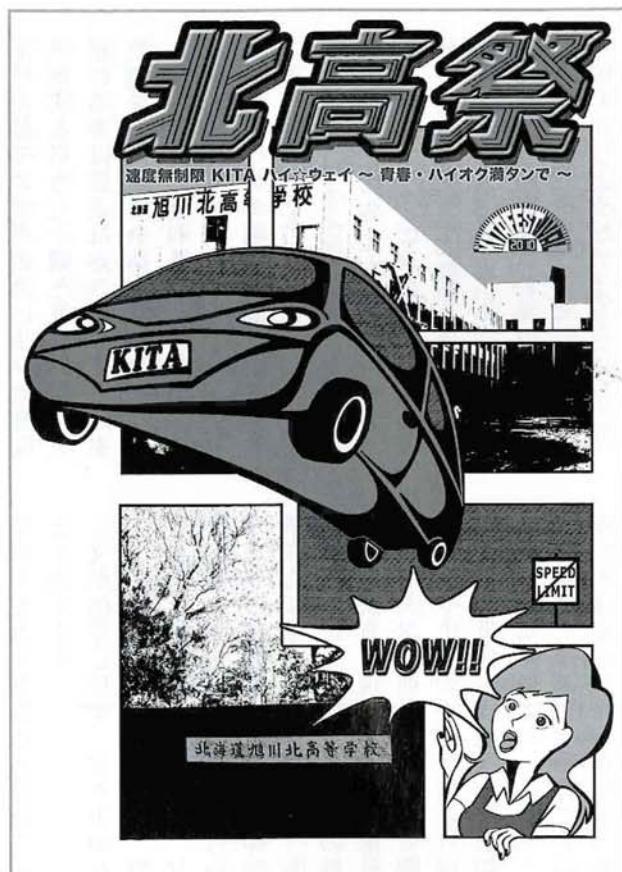
今年も第57回北高祭が7月9・10・11日の3日間にわたり、行われました。

そのうち、10・11日の2日間、駐車場や駐輪場を利用して、各クラスや部活動等による露店が数多く出店されました。毎年、同窓会も露店の出店をしています。

多くの皆様にご来店いただきました。



同窓会の皆様から拠出していただきたものを中心に販売しています。



今年の北高祭のポスター

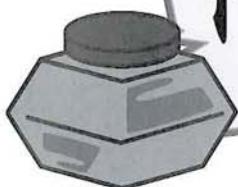
露店の売り上げは、同窓会から北高に贈呈され、教育活動のために活用されています。

同窓会の会員の皆様には、ぜひ、来年度の北高祭に来ていただき、露店にも顔を出していただけるととてもうれしいです。

よろしくお願ひいたします。

同窓生から

◆北高39期 水口貴浩
◆北高35期 村澤泰洋
◆北高26期 园田洋志
◆北高11期 園田信一



ボストン⇄あさひかわ



園田洋司
(北高11期)

久しぶりに母校のキャンパスを訪れてみた。新緑が若葉に映えキラキラと輝いている。すでに校舎はすっかり姿を変えているが、木々の緑と学窓から眺める大雪の秀峰は夢と希望に満ち溢れたあの頃といまさかも変わらない。

「お父さんと一緒に同窓会に行きたい」と、ある日突然中学生になつたばかりの娘が言い出した。その頃、稲垣勇同窓会長のもとで副会長としてお手伝いをしていた私が、日常的に同窓会活動に関しての話しが多かつたことが原因かと思う。幸運な事に無事入学する事ができた。短大卒業し、そろそろ念願の『親子で同窓会へ』と思いはじめた頃、アッという間にアメリカ留学へと旅立つていった。卒業後もそのまま居つて結婚、そして今般ボストンから孫二人を連れて里帰り、二週間我が家へホーミーステイとなつた。その6歳になる孫が「お母さんの学校へ行つてみよう」と言い出したことで実現したのが今日の母校訪問。

母校の70年の歩みの中で、我々の在学期間はほんのわずかで、しかもそれから50年の歳月が流れている。



『縁』

信田有一
(北高26期)

自らは3代目チアリーダーを務めたなどと、かなりテンションが上がつている。増殖し続ける母校の思い出は滞在中ではおさまりそうもなく、舞台をボストンに移しさらにエスカレートすることになりそうだ。地下に眠るサミエル・アダムスさん、J・F・ケネディーさん、上が少し騒がしくなりますが よろしく

日々飛び出してくる。それはどうやら娘も同じようだ。チアガール部設立のため先輩たちと大変な苦労してお手伝いをしていた私が、日常的に同窓会活動に関しての話しが多かつたことが原因かと思う。幸運な事に無事入学する事ができた。短大卒業し、そろそろ念願の『親子で同窓会へ』と思いはじめた頃、アッという間にアメリカ留学へと旅立つていった。卒業後もそのまま居つて結婚、そして今般ボストンから孫二人を連れて里帰り、二週間我が家へホーミーステイとなつた。その6歳になる孫が「お母さんの学校へ行つてみよう」と言い出したことで実現したのが今日の母校訪問。

亡父のラーメンが食べたく診療の合間に作り続けて『父親の味』を再現していたことで、4年前2条8丁目に幼馴染達とラーメン店を開業、2年前からはやはり『縁』あって力

りの人生どう生きる?最近こんなことを考えます。

父が他界し19年、父も市中だつた道を振り返る余裕もなかつた。木もれ日の揺れる中キャンバスに腰をおろし一息ついてみた。ふしぎ:不思議:あの頃が瞬間移動でやつて來た。担任の木村五一先生が、金箱先生が、キツイ愛情を示してくれたナフ(藤田)先生が、そしてあのメルボルンオリンピック体操競技で活躍した菅原先生が。数十年もの間、日の目を見なかつた思い出が、忘れられてはたまらんと言わんばかりに次々と飛び出してくる。それはどうやら娘も同じようだ。チアガール部設立のため先輩たちと大変な苦労してお手伝いをしていた私が、日常的に同窓会活動に関しての話しが多かつたことが原因かと思う。幸運な事に無事入学する事ができた。短大卒業し、そろそろ念願の『親子で同窓会へ』と思いはじめた頃、アッという間にアメリカ留学へと旅立つていった。卒業後もそのまま居つて結婚、そして今般ボストンから孫二人を連れて里帰り、二週間我が家へホーミーステイとなつた。その6歳になる孫が「お母さんの学校へ行つてみよう」と言い出したことで実現したのが今日の母校訪問。

支店をオーブン、障害者歯科医療というライフケアに『父の味』のラーメンという二つ目のライフケアを持つことに。

半世紀を過ぎ、残りの人生の生き方は？ 関わった仲間達がしつかり人生を作れる病院や店にしていくことそして楽天の名譽監督の野村克也氏が言っていた言葉『財を成すのは下の人生、名を残すのは中の人生、人を残すは上の人生である。』を心に繰り返すこの頃、何一つ成していない半世紀、『財』も『名』も成さずとも『人』は残したく動き続けます



卒業から25年：
「今、冬季五輪へ羽ばたく
子どもたちへ思いを寄せて」

村澤泰志

澤泰志

卒業してから25年、私は今、学校教育の現場を離れ、この4月より中川郡美深町教育委員会に席を設けていただき社会教育の分野へ挑戦する機会をいただきました。

今日の社会情勢は日まぐるしく変化し、子どもたちを取り巻く社会環境の急速な変化も深刻な問題となっています。このことは、子どもたちの生活習慣にも影響し、体力・学力とともに弱体化傾向にあることが近頃よく話題に出ますが、かつて北の大

地の子どもたちは、厳しい冬をウインタースポーツに明け暮れ、真っ黒に雪焼けしたキッズ達が大勢いたことを記憶されている方は私だけではないと思います。スポーツと言えば夏の競技を思い起こされる方が多いでしょうが、冬季スポーツを話題にされる方が本当に少なくなりましたまた、マスコミが話題を縮小するのと比例するかのように極端に競技人口が減ってきているのもまた寂しい事実です。

現在、美深町をはじめ、上川北部の5市町村が協力体制を組み、準備期間を経て今年度から「上川北部広域スポーツクラブ」を発足、未来のトップアスリートを目指す子どもたちの育成や冬季スポーツの普及促進に地域の大人たちが子どもたちのために本気で取り組んでいます。また組織体も斬新な手法を取り入れ、各市町村により担当競技種目（エアリアル、ジャンプ、アルペン、クロカンなど）を設け育成を図つていきます。

さらに競技適性を見極めるため、JOCなどの協力のもと専門的な視野からのアドバイスや、スポーツ大会を開催し外部講師による育成プログラム、ナショナルコーチなどの指導体験などを通し、最終的に自分が選んだ種目で実践育成に取り組むスタイルを形成しています。

まだ、日が浅くこれから多くの課

地の子どもたちは、厳しい冬をウインタースポーツに明け暮れ、真っ黒に雪焼けしたキッズ達が大勢いたことを記憶されている方は私だけではないと思います。スポーツと言えば夏の競技を思い起こされる方が多いでしょうが、冬季スポーツを話題にされる方が本当に少なくなりましたまた、マスコミが話題を縮小するのと比例するかのように極端に競技人口が減ってきているのもまた寂しい事実です。

題をクリアしながら取り組んでいくプロジェクトではありますが、その一端として見届けていけることに喜びを感じています。

我が青春の北京

水口貴浩

私は、平成元年三月に卒業しましたので、早くも二十一年余が経過いたしました。バブル景気の中、当時は国家公務員であつた郵政に高卒で就職し、現在に至っております。

今回、この同窓会誌の原稿を書かせていただきことになり、改めて當時の事を思い返してみると、北高で過ごした三年間は、自分にとつてすごく貴重であり、また、すごく楽しい時間であつたなあ、と懐かしくなりました。

昭和六十一年四月。卒業生十四名
という小規模校から、一学年四百名
ほどの大規模な学校に、かなりの不
安を抱えながら入学。その入学式で
学年主任の寺師先生が、私の両親の

高校生時代に英語の先生として同じ学校にいらつしやった事が判明。世間の狭さを初めて知った瞬間である。一年生の時は、学校祭の時に、教室で紙麻雀をやっていたことが、一番記憶に残っています。

二年生の時は、念願の図書委員になつたはいいが、「図書室のサロン化」に一役買つてしまい秋山先生に怒られたことと、北高祭の演劇で医師役を演じたことが思い出深いです。あつゝ修学旅行で豆腐懐石料理を食べることができなくて、口惜しい想いをしたっていうのもあつたなあ。あまりにも心残りだつたので、就職して数年後に、友人と男二人で京都に行つたという後日談もあります。

最終学年の三年生では、北高祭の実行委員会で活動したことが懐かしいですね。内輪ネタになつてしまふので詳細は書けませんが、いろいろなことがありました。全てが楽しい良い思い出です。

あの頃にもう一度戻つてみたいなあ、などと叶わぬ想いを胸に秘めながら、現在を頑張つて行こうと思つております。最後に、「良い思い出」と友人を授けてくれてありがとう北

今春の進路指導部

進路指導部（全日制）

新沼克志

平成二十一年度の卒業生は、単位制導入後、二回目の卒業生でした。

この学年は、女子の割合が六四%と例年より多いため、高橋学年主任を中心的に、この点を配慮した指導に努めてきました。特に、女子にとつて苦手科目となりやすい数学に、早期から重点的に取り組ませ、最後まで好調さを維持させることができました。今年度の入試は、センター試験の理系科日が難化し、理系や医療系志望の受験生にとって、厳しい入試となりました。特に、看護系は、全道的に志望者数が増加したことも影響して、高看も難化するなど、女大生が多い本校にとつては、かなり厳しい状況

本校の最終的な大学入試の結果は、一〇

大学名	H18	H19	H20	H21
北星学園大	23	25	19	8
北海学園大	19	36	14	26
道文教大	2	8	5	6
札幌学院大	3	4	1	4
札幌学院大		6	4	3
天使大	5	5	4	3
道医大	11	8	11	8
道栄科大	6	5	1	
慶女子大	2	2	1	6
酪農学園大	1	4	4	1
日赤看護大		1		6
早稲田大		3		
青山学院大		1	2	1
明治大	2		8	2
中央大	8	2	3	5
立教大	1	2	4	1
法政大	2		9	7
国際基盤大		1		1
学習院大		1		1
東京農大		3	2	2
津田塾大	2	1	2	
獨協大	1	3	4	1
日本大	2	1	3	2
東洋大	1	4	4	2
同志社大	1	1	2	
立命館大		3	2	1
その他	30	58	65	52
私立大合計	122	188	174	149

【公務員・民間就職合格者数】				
種類	H18	H19	H20	H21
国家公務員	1	1		2
追職員	1	3		
市町村職員	2	3	1	2
他の公務員		1	4	
民間就職	5	4	2	2

【国公立大学現役合格者数】				
学名	H18	H19	H20	H21
海道大	15	12	22	14
教大	18	26	18	20
蘭工大	1	1	1	5
櫛商大	8	6	9	4
広畜産大	4	4	3	2
川医大	10	6	6	4
見工大		3	1	1
前大	7	12	9	7
手大	1	2	5	
北大	1		2	
形大	1	1	3	1
城大		4	1	1
波大	1	1	1	1
都宮大	1	4	3	
五大	3	2	2	4
気通信大			2	
京外語大	1		1	
京学芸大		1		1
橋大				1
潟大	2	1	1	4
沢大	2	1	4	1
州大	2	3	3	3
郡大				1
島大			2	
球大	1		2	1
謙医大		2	2	1
晃市立大	6	2		1
智市立大	2	5	4	5

※旭医大医学科H18(1), H21(2)

卒業生の進路 平成21年度 進路別人数

区分		合計			前年
		男	女	計	
卒業者数		85	153	238	238
進学希望者数		85	148	233	235
進学者数		59	124	183	211
進学先内訳	大学	国公立道内	20	39	59
		国公立道外	23	17	40
		私立道内	3	27	30
		私立道外	11	21	32
	短大	国公立道内	0	0	0
		国公立道外	0	0	0
		私立道内	0	3	3
		私立道外	0	1	1
大学校等		0	0	0	1
専門学校	看護	道内	0	11	11
		道外	0	0	0
	その他	道内	1	3	4
		道外	1	2	3
就職	公務員	0	3	3	1
	民間	0	2	2	2
自営：家事手伝		0	1	1	0
その他（未定を含む）		26	23	49	24

国公立大学現役合格者数及び1クラスあたりの合格者人数

	平成 14年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
学級数	8	7	7	6	6	6
合格者数	84	97	108	123	125	103
人/クラス	10.5	13.9	18.0	20.5	20.8	17.2

難関大、医学科、獣医学科合格者数（現役+過卒）

	平成 14年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
北海道大学	8	12	23	14	27	17
旭医大(医)			1			2
帯畜大(獣)			1			
東北大	1	2	1		2	
筑波大	2	1	1	1	1	1
東京外大			2		1	
東京工大					1	
一橋大						1
京都大				1	1	1
広島大				1	2	
	11	15	29	17	35	22

10部活動報告

野球部

私達野球部は、笠井先生を始めとする先輩方のご指導のもと、素晴らしい環境で、毎日元気に活動しています。

私達は、野球はもちろん勉強にも全力で取り組み、また、社会に出ても通用するような礼儀や、物の考え方を日々学んでいます。限られた練習時間で勝つために、効率良く、中身の濃い練習をしています。

しかし、昨秋は旭川大学高校に敗戦し、その後の練習試合でも八連敗と、ドン底の状態で冬に入りました。

冬には、今までの郵便局のアルバイトも行わず、お正月休みもほとんどなしで、毎日厳しいトレーニングを積んできました。

春季大会では、決勝大会まで勝ち進みましたが、旭川大学高校に、再び敗れてしましました。

ソフトテニス部

ソフトテニス部の活動について、少しご報告させていただきます。ここ10年ほどずっと男子の入部がない状態が続いていましたが、今年は1名だけですが男子部員を迎えることが出来ました。女子ばかりの中で少し窮屈そうですが、頑張って活動をつづけています。今後もさらに男子の入部

・テニス部

テニス部は、男子二十五名、女子十五名で活動しています。花咲テニスコートがすぐ近くにあるという地の利を生かし、毎日練習に明け暮れています。テニスは、技術はもちろんのこと、メンタル面での影響が結果に大きく反映してしまうスポーツです。

テニスにうち込むことで、メンタル面を強化し、困難に果敢に立ち向かい、逆境にも

者があることを期待しています。さて、先日行われました高体連地区大会では、3年生の最後の大会ということもあり、みんな全力で一生懸命プレーして、力を出し切つてきました。団体戦は昨年と同様に決勝トーナメントの1回戦で敗退しましたが、個人戦では1ペアがベスト8に入り、全道大会への出場を果たしました。全道大会でも念願の1勝を果たし、満足して大会を終えることが出来ました。新チームは1年生のみの若いチームです。これからも先輩達の伝統を引き継いでがんばりたいと思います。

高体連地区大会結果
念願の1勝を果たし、満足して大会を終えることが出来ました。新チームは1年生のみの若いチームです。これからも先輩達の伝統を引き継いでがんばりたいと思います。

団体戦：

○旭川北 3-0 留萌

(予選リーグ)

○旭川北 3-0 旭川大学高

(予選リーグ)

×旭川北 0-3 旭川東

(決勝トーナメント1回戦)

個人戦：

伊野・今野組 ベスト8

高体連全道大会結果

伊野・今野組

1回戦 ○ 対北見北斗 4-3

2回戦 × 対尚志学園 0-4

(大会結果)

◇バレー祭

2回戦 旭川北 2-0 旭川東栄

準決勝 旭川北 1-2 旭川凌雲

3位決定戦 旭川北 2-0 旭川西

第3位

◇旭川支部春季大会

2回戦 旭川北 2-0 旭川東栄

準決勝 旭川北 1-2 旭川凌雲

3位決定戦 旭川北 2-0 旭川西

第3位

◇高体連旭川支部予選会

予選グループ戦

旭川北 2-0 旭川東栄

決勝トーナメント戦

・サッカーチーム

現在サッカーチームは、三年生が春の高体連を最後に引退し、二年生17人、一年生14人、マネージャー5人で毎日元気に活動しています。新チームとなつばかりで、足りないところばかりで、これからひとつでも上に行けるようなチームを目指して、一丸となつてがんばりたいと思っています。

現在は授業が七時間ある日が、火曜日と木曜日となり、土曜日には講習や模試なども入ってきて、なかなか満足な練習時間が確保できない状況にあります。ですから、日々意識していることは、少ない練習時間が中でいかに集中力を高め、自身の濃い練習をするかということです。仲が良い中にいる時には厳しいことも伝え、お互いがお

動じない強い精神を持つた人間に成長してもらおうと考え、生徒達を指導しています。

現在は、三年生が引退し、新チームとして動き出したばかりですが、九月の新人戦に向け、頑張っています。

◎高体連旭川支部予選会

男子 個人戦
シングルス 松嶋 五位

全道大会出場

決勝リーグ戦 旭川北 2-1 富良野
旭川北 2-1 旭川凌雲
旭川北 2-1 旭川工業
旭川北 2-1 旭川西 優勝

の下に、「全道出場」を目標に毎日の練習を取り組んでいます。練習は厳しく、苦しいですが、それが私達の心と体を鍛えてくれます。目標達成に向け頑張ります。

平成二十一年度

高体連秋季大会	2回戦敗退
選抜旭川予選	1回戦敗退
全道新人旭川予選	1回戦敗退
旭川地区春季大会	1回戦敗退
高体連旭川支部予選	1回戦敗退

・**山岳部**

山岳部は現在六名で活動しています。今年は男子一人と女子二人があらたなメンバとして加わり、楽しく、にぎやかに活動しています。

今回の地区大会は、昨年の経験を生かし、見事二位に入ることができ全道大会に出場することができました。全道大会ではあまり良い結果は残せませんでしたが、とても勉強になり、来年こそは地区大会で一位、全道でも一位をとつて全国大会に出場したいと思っています。

・**アーチエリー部**

現在、アーチエリー部は三年男子四名・女子一名、二年男子五名・女子二名、一年男子四名・女子二名の十八名で活動しています。

六月九日～十一日に高体連全道大会がキロリゾート森の広場で行われました。男子団体は、準々決勝で帯広工業高校に勝ち、準決勝で札幌篠路高校に惜敗し、三位決定戦で帯広三条に敗れ、四位に終わりました。生徒は、全力を尽していました。来年度こそは、全道Jチャンピオンになることを決意し、大会後、練習に励んでいます。今

回は、女子の団体戦は人数の関係で参加できませんでしたが、来年度からは、女子も団体戦に参加できるようになります。

高体連が終了し、二年生が中心の部活動になります。二年の館下雄輝君を部長に新体制として始動しました。現在、旭川アーチエリー協会の方々が生徒の指導にご尽力をいただいております。

新体制で、まずは九月に行われます新人戦を取り組んでいます。シングルアーチトドアターゲットラウンドですので、一年生にとっては、厳しい大会となります。早く、七十㍍、九十㍍が打てるようにしていきたいと思います。

・**少林寺拳法部**

今年は一年生11名を加え、男子18名・女子16名の計34名で活動しています。

昨年夏の全国大会と今春の全国選抜大会では、残念ながらあと一步のところで予選通過が出来ませんでした。しかし、男女とも人數・実力共に北海道を代表するレベルに成長した我が部としては、今後の教訓として様々な物を得られた大会でした。

六月の高体連全道大会では、男子が各項目で入賞し、圧倒的な差で二年振り三回目の総合優勝を果たしました。女子は他校のレベルも上がっており、僅差で団体演武の全国出場を逃しましたが、健闘しました。全国高校大会では、予選を上位で通過し、本選でも入賞者がいるよう、頑張ります。

◇高体連全道大会結果（入賞者）

（男子） 総合一位 团体演武	☆大井・佐藤・岸本・相馬・志藤・柳谷・西島（3年）・吉田（2年）組 一位 安井・鈴木（3年）・原口・柴田・妻鳥・堀井（2年）組 二位
-------------------	---

・**団碁部**

5月20・21日の両日にわたり、岩見沢東高で高文連北海道高校団碁選手権大会が開かれました。

本校からは、3年の田中と2年の中村・越智・森の4名がABCの3クラスに分かれました。全国高校大会では、予選を上位で通過し、本選でも入賞者がいるよう、頑張ります。

・**吹奏楽部**

岡田・島田・大木・浜本（3年）・渡邊・秋生・高木・田中（2年）組 三位	☆原口・妻鳥（2年）組 一位 柴田竜河（2年） 原口智成（2年） 原口智成（2年）
組演武（二段以上の部）	☆佐藤・岸本（3年）組 一位 （段外の部）
☆岡田・島田（3年）組 三位	☆柴田・堀井（2年）組 一位 （段外の部）
”（段外の部）	”（段外の部）

・**吹奏楽部**

3年の田中はこれで引退ですが、2年生部員が4人いますので、今後の活躍が期待されます。

春1年生16名を迎え、総勢53名で「聴衆に感動をあたえられる演奏をしよう」を目標に部員全員が一丸となって精力的に演奏を行っています。現在は北高祭や吹奏楽団体コンクール、第35回定期演奏会に向け毎日練習に励んでいます。

平成21年度の活動内容および成績

高文連上川支部音楽発表大会	北海道吹奏楽団体コンクール旭川地区予選
高等学校A編成の部 銀賞	高文連上川支部音楽発表大会
北海道個人・アンサンブルコンクール旭川地区予選	北海道個人・アンサンブルコンクール旭川地区予選
フルート独奏	吹奏楽コンクール部門 奨励賞
金管八重奏	北海道吹奏楽団体コンクール旭川地区予選
サキソフォーン四重奏	高文連上川支部音楽発表大会
銀賞	北海道個人・アンサンブルコンクール旭川地区予選

・**美術部**

入学式、新入生歓迎会、野球応援、北高祭、卒業式にて演奏

校内活動

イオンスプリングコンサート実施 参加 第34回定期演奏会主催 第7回トリニティ・コンサート主催 北海道音楽大行進、アフターコンサート

・**美術部**

昨年度も高文連大会では、全員が全道大



会出場権を獲得することができました。このほか、道新にスケッチを掲載して頂いたり、生徒会誌の表紙を描かせて頂きました。今春の上川支部の選抜作品展にはCGなど、新たな表現方法で出品することができます。新入生歓迎行事の紹介ビデオでは、黒板を使ったコマ撮りアニメーションを作しました。それらの効果か?新入生6名が入部し、部員数倍増です。

今年度も学校祭の宣伝・装飾などのデザインや制作にも全面的に協力できました。学校祭終了後は、夏休み明けの高文連支部大会への出品作の仕上げです。

例年、美術・デザインや芸術学に進学をする部員がおり、秋から冬は、美術史や理論、デッサンや技法研究などの地道な勉強をしています。これからも、日頃の成果を皆さんに喜んで頂ける形で還元できるように、精進したいと思います。

平成二十一年度の成績

高文連美術展・研究大会

全道優秀作品賞

2年 佐藤 麗花

全道入選

3年 藤田由里子

2年 杉本 直樹

2年 成田みくに

2年 吉田 美月

1年 佐野 恭子

●音楽部

部員数46名と、全校生徒の6%を占めるまでになりました。それでいて、部室は10名も入れば一杯というくらい狭いので、活動も思うようにはできないのが悩みです。もともと合唱部としてスタートしたらしいのですが、いつの間にか軽音楽部として活動しています。今風の歌を学校祭や、図書

室コンサート、クリスマスコンサートなどで発表しています。楽器をやつたことがない生徒も入ってきて、少しずつ練習してうまくなっています。学校祭ではテーマソングを作るのが音楽部の仕事になっています。学校祭を盛り上げるために一役買っています。

●書道部

今年度は、十二名の新入部員を迎え、計十九名で楽しく活動しています。現在、北高祭や高文連に向けて作品を制作中ですが、連日書道教室が作品でいっぱいになるくらい、皆精力的に取り組んでいます。また、部員同士の会話も多く、良い雰囲気の中活動できています。今後も仲間達と励まし合いながら、よりよい作品の完成を目指して頑張ります。

●演劇部

なんとか四月、新人部員が三人入ってくれ、一息ついているところです。ただ、現二年生は一人なので、しばらくはこぢんまり行くしかありません。部活動を維持できるだけでも、周囲の状況を見ると、納得しなければならないのかもしれません。「身の丈にあつた部活動」は、維持できそうなので、喜んでいます。

活動面では、四月十八日(土)に、旭川西高との二校の合同公演「桜桃忌の恋人」(原作・重松清、脚色・中井伸雄)」を上演しました。題名の「桜桃」からも分かるように、太宰治との関連の深い作品です。

二つの独立した高校ですので、微妙に行事予定がずれているなど、やりにくい面はありましたものの、いつもと違う稽古ができ、上演の運びとなりました。

五月二十二日(土)の上川支部演劇部合

同公演と稽古が重なり、一時は二人とも体調を崩すなどの試練を乗り越えて、最高の舞台を作ってくれました。生徒の成長を感じる二ヶ月でした。

今後の今年度の予定は、釣崎彥校長先生が以前お書きになつた「どんぐりの家」であります。まだどのようにリメイクして上演することになります。これをリメイクして上演することにかかりを検討しているところですが、現代版に相応しいものにしていく所存です。取り敢えず、学校祭の公演では、校長オリジナルのまま、上演いたします。この作品は過去に実際に見ているので、できる限りそこから離れた進め方にします。もし興味がございましたらご観劇くださいますよう、よろしくお願ひ申しあげます。高文連の本番は、十月七日から始まります。こちらも是非ご覧くださいますよう、お願ひ申しあげます。

●茶道部

今年度は、一年生六名の入部(今年は女子が二名、男子が四名入部しました)があります。まだどのようにリメイクできるかを検討しているところですが、現代版に相応しいものにしていく所存です。取り敢えず、学校祭の公演では、校長オリジナルのまま、上演いたします。この作品は過去に実際に見ているので、できる限りそこから離れた進め方にします。もし興味がございましたらご観劇くださいますよう、よろしくお願ひ申しあげます。木曜日は自主練習で、三年生が中心となり基本練習の席入や帛紗さばき等の割稽古を行っています。また今

年度は、三年生が同門会のお茶会に参加したりしました。

七月に行われる学校祭は、日頃の活動の成果を披露できる唯一のお茶会です。五月からはそれに向け、完璧なお手前を披露するためにそれぞれが時間をみつけてはお手前練習に励みます。

三年生は七月で引退し、八月からは二年生が中心となり部活動が行われます。一年生と共に歴史ある北高茶道部の伝統を受け継いでいくてほしいです。

これからも茶道を通して、礼儀作法や人間をもてなす精神を学び、心豊かな人間になります。

これからも茶道を通して、礼儀作法や人間をもてなす精神を学び、心豊かな人間になります。

●華道部

今年度は、一年生三名、二年生三名、三年生一名の計七名で毎週水曜日に活動しています。

少ない活動ながら、立岩先生のご指導の下、一人一人が着実に上達しています。また、学年問わずに仲がよいので、部内の雰囲気もとてもよいです。

稽古後は、生けたお花を図書室や廊下に展示して、たくさんの方々にご覧いただき、いつも「きれいですね。」とおっしゃっています。

●インター・アクト部

学校祭では、稽古の成果を發揮するため

げます。

展示をご覧いただくことで、華道のすばらしい文化を皆さんに伝えたいと思っています。

このように、私たちは、これからも先輩方によって守られてきた、旭川北高華道部、日本の華道の精神を守りつづけ、また、未だつています。

来の後輩に伝えていこうと思います。

●茶道部

今年度は、一年生六名の入部(今年は女子が二名、男子が四名入部しました)があります。まだどのようにリメイクできるかを検討しているところですが、現代版に相応しいものにしていく所存です。取り敢えず、学校祭の公演では、校長オリジナルのまま、上演いたします。この作品は過去に実際に見ているので、できる限りそこから離れた進め方にします。もし興味がございましたらご観劇くださいますよう、よろしくお願ひ申しあげます。木曜日は自主練習で、三年生が中心となり基本練習の席入や帛紗さばき等の割稽古を行っています。また今

年度は、三年生が同門会のお茶会に参加したりしました。

七月に行われる学校祭は、日頃の活動の成果を披露できる唯一のお茶会です。五月からはそれに向け、完璧なお手前を披露するためにそれぞれが時間をみつけてはお手前練習に励みます。

三年生は七月で引退し、八月からは二年生が中心となり部活動が行われます。一年生と共に歴史ある北高茶道部の伝統を受け継いでいくてほしいです。

これからも茶道を通して、礼儀作法や人間をもてなす精神を学び、心豊かな人間になります。

これからも茶道を通して、礼儀作法や人間をもてなす精神を学び、心豊かな人間になります。

●インター・アクト部

私たちインター・アクト部は、旭川北高タリーカラーブのご支援の下、様々な活動に

取り組んでいます。

インター アクトは、インター ナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視野に立ち、ボランティア活動を通じて地域社会に貢献することを主な目的としています。毎週のミーティングで「自分ができること」を部員同士で相談しながら、ボランティア活動に取り組んでいます。活動内容は次の通りです。

①校内の活動

□美化活動

・校舎内の清掃

・校舎敷地内のゴミ拾い

・100万人ゴミ拾いキャンペーン参加

□リサイクル活動

・リングブル・古切手・ペットボトルの回収

□地域との関わり

・FNSチャリティー募金活動実施

・旭川冬祭り会場跡地の清掃活動

・旭山動物園 障がい者鑑賞サポートボランティア

③海外研修への参加

・ロータリークラブの支援の下、毎年1名ずつ海外短期研修に参加させていただいています。

今年は部員以外の生徒の皆さんも参加しています。しかし、現在は部員数が少ないのが悩みの種です。一人でも多くの生徒がインターネット部の活動に興味を持つてくれることもあり、部員一同嬉しく思っています。今年は、部員も「身近なことからできるボランティア活動を中心に取り組んでいきたいと思っています。今後ともどうかよろしくお願いします。

・文芸部

今年度は、三年生が高校入学以来、先輩の後ろ姿を見ながらこつこつと積み上げてきたことが実を結んだ年でした。高文連文化コンクールにおいて、小説部門で最優秀賞を受賞するという快挙を遂げた元井諒君をはじめ、支部のコンクールでも入賞を複数の部門で果たすことができました。また、卒業生が集つて、卒業生版の『玉響』を発行するという動きもあり、在校生・卒業生のつながりは、疎くなることなく楽しそうに続いています。在校生版『玉響（たまゆら）』は第九号編集中です。

高文連上川支部文芸コンクール

・小説部門 優秀 元井 諒

・詩 部門 最優秀

・短歌部門 佳作 遠藤 真緒

・詩 部門 佳作 杉本 恭子

・詩 部門 全道推奨 佳作 元井 諒

・詩 部門 全道優秀 元井 諒

・詩 部門 全道入選 元井 諒

・詩 部門 全道銀賞 元井 諒

・理科実験研究部

今年は一年生が一人入り、二年生が三人、一年生が一人の計四人で楽しく活動しています。去年は先輩方のいない中で初めての大会を経験しました。今年は後輩もでき、大体何をすればよいのかわかったので、今年は「4年連続全国大会出場」までは達成した。2年生ながら道北No.1アナウンサーとなつた早坂綾音さんが、先輩たちと一緒に「準決勝」に進めるか? 多数の皆さんのお応援をお願いします。

また、昨年のテレビドキュメント番組の準決勝進出に続き、今年はラジオドキュメント番組が全国大会進出を決めている。今まで団結力に欠ける部分がありますが、このような行事を通して楽しく実験できた年は良いなと思います。

・放送局

放送部員（局員）が大会に出るなどと聞いた人の多くが口にする言葉は「え、放送に大会なんてあるんですか?」「ゲーブル巻きとりの早さとか競うんですか?」であります。実際のところ顧問の私も初めて大会の存在を知ったときはそんな感じだった。

放送コンテストには大きく二大会あり、

総文祭放送部門とNHK杯コンテストがそ

れにあたる。秋に地区予選と全道大会を行

い、翌年の八月に実施される総文祭は、

「お国自慢」のような大会で、参加する生

徒も半分以上観光みたいなものである。そ

れとは対照的なのがNコンである。NHK

の技術者やプロの番組制作作者、プロのアナ

ウンサー等が審査員に加わり、高校生の朗

読、アナウンス、テレビドラマ、ラジオド

ラマ、テレビドキュメント、ラジオド

キュメントを審査するのであるが、5月に地区

大会、6月に全道大会、7月に全国大会が開かれ、本校は毎年のように何とか全員大

会に進出している。

昨年まで「アナウンス部門」では3年連

続で全国大会に進出し、そして全国の高校

生の目標である「準決勝進出」を達成して

いる。これは北高史上最高の成績である。

今年は「4年連続全国大会出場」までは達

成した。2年生ながら道北No.1アナウンサーとなつた早坂綾音さんが、先輩たちと一緒に「準決勝」に進めるか? 多数の皆さんのお応援をお願いします。

また、昨年のテレビドキュメント番組の準決勝進出に続き、今年はラジオドキュメ

ント番組が全国大会進出を決めている。今

や死語となつたかに思える「ちんどん屋」を復活させた方々を取材した力作だ。知つ

ている方も多いと思うが、本校のドキュメ

ント番組は、数年前に2年連続で日本一となつたテレビドキュメントをはじめ、全国

・放送局

的にも指折りのレベルを誇っている。今年はラジオで全国の頂点を目指している。皆さん、こちらの応援もよろしくお願いします。

・写真部

昨年の冬、廃部の危機にあつた写真部も、

今春新たに8名の新入部員を迎えることが

できましたので、無事に今年も楽しく活動して

います。また、初めての試みである文芸部

との合同冊子「共鳴」（写真&詩集）の發

行を決定し、日々写真撮影に勤しんでいる

今日この頃です。

・生徒会

北高生徒会の活動について、少しご報告させていただきます。昨年は新しい取り組みとして、生徒手作りの「クリスマスイベント」について紹介させていただきました。そのような動きの中から、より自主的な生徒会活動への機運も盛り上がり、現在は北高祭・そして夏休み明けの体育大会に会に進出している。

昨年まで「アナウンス部門」では3年連続で全国大会に進出し、そして全国の高校

生の目標である「準決勝進出」を達成している。これは北高史上最高の成績である。

今年は「4年連続全国大会出場」までは達成した。2年生ながら道北No.1アナウンサーとなつた早坂綾音さんが、先輩たちと一緒に「準決勝」に進めるか? 多数の皆さんのお応援をお願いします。

また、昨年のテレビドキュメント番組の準決勝進出に続き、今年はラジオドキュメ

ント番組が全国大会進出を決めている。今

や死語となつたかに思える「ちんどん屋」を復活させた方々を取材した力作だ。知つ

ている方も多いと思うが、本校のドキュメ

ント番組は、数年前に2年連続で日本一となつたテレビドキュメントをはじめ、全国

・伝統部

伝統ある北高の生徒会活動を一層良いも

のにすべく、日々頑張っています。今後ど

も様々な場面で同窓生の皆さんのお力を借り

る場面があると思いますが、どうぞよろ

しくお願ひいたします。

同窓会役員及び幹事名

旭川北高

同窓会役員名簿

北 北 北 中 中 中 中
三 二 一 (高) 五 四 三 二 一

北十七 北十六 北十五 北十四 北十三 北十二 北十一 北十 北九 北八 北七 北六 北五

北二十九
北二十八
北二十七
北二十六
北二十五
北二十四
北二十三
北二十二
北二十一
北二十

同窓会役員及び幹事名

幹事の皆様大変ご苦労様です

◎各期幹事に異動がありましたら同窓会事務局までご連絡ください。（代表3名）

【自宅】〒070-0815 旭川市川端5条8丁目1-8 庄司和晴

TEL(0166)51-5024 携帯電話 090-3773-2019

【勤務先】(株)サム

TEL (0166) 51-3434

当番期
あいさつ



第45回同窓会実行委員長
北高34期 飛弾野 文彦

次期当番期
あいさつ



第46回同窓会実行委員長
北高35期 児玉賢一

私たち三十四期は、四年前にサブ幹事として同窓会のお手伝いをさせていただきました。その折りに同期三十名余りが集まり、それなりに年輪を重ねた仲間たちで、久しぶりの再会に話も盛り上りました。

昨年の同窓会後に同期会を開催し、各係の割り当ての決定と協力依頼を行いました。この1月には同期会新年会をもち、60名程の同期が集まつて、夜遅くまで語り合うことができました。私自身、実行委員長という大役を引き受けてしまい、内心は不安で一杯だったのですが、こうして同期が集まるとなれば気持ちも消え取り組むことができました。同期の良さと絆を改めて実感できた貴重な1年間だつたと思います。

さて、今年は旭川北高創立七十周年にあたる年であります。同窓会も第四十回。当番期である私たちも四十五歳。偶然とはいえる、このような節目の時に当番幹事として同窓会のお手伝いをさせていただくことに、不思議な縁を感じます。今回のキヤツチコピーは「今日、あの時の『またいつか…』です。『いつかまた

会おう』と別れた仲間と、同窓会の今、再会の約束を果たせる。そんな想いを込めています。何分にも慣れでありますので、いろいろと至らないところや失礼な点があるかと思いますが、今年の同窓会が皆様にとって思い出深いものになるよう、精一杯がんばりたいと思いますので、ご容赦ください。

紙面では失礼かと存じますが、いつも支えていただいた本部役員の皆様、丁寧にご指導くださった33期の諸先輩、そして会券・広告のご協力をいたいたいた多くの皆様に、心より感謝申し上げます。最後になりますが、旭川北高同窓会の益々の発展を祈念いたしまして、当番幹事を代表してのご挨拶といたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

時代も、社会人となつても、高校時代の旧友との付き合いは尽きることなく、今も尚、交流を深めながら、それぞれの環境や立場で一生懸命に頑張っている旧友が身近に多くいることが励みとなつております。

今年の三月末に、三十五期の幹事長である渡辺周一くんを中心に行なった、幹事長より、「この春の異動とともになつて日高に転勤する事になってしまった。同窓会の仕事を、是非ケニアに引き継いでもらいたい」との依頼がありました。突然の話に私も戸惑いましたが、その場にいた旧友からの後押しもあり、五月の連休に開かれた準備委員会での承認を得て、この度、次期実行委員長という大役を仰せつかることになりました。何分不慣れではござい

ますが、諸先輩や各期の方々のお力添えを頂きながら、三十五期の多くの仲間たちと力を合わせ、四十期のサブ期の後輩と共に、これまで諸先輩方が築き上げてきた伝統ある北高同窓会を大成功させ、次期へ受け渡すことができるよう頑張って参ります。

先にも述べた準備委員会には約二十人の旧友が集い、同窓会の当番期の仕事についての協力依頼をすることができました。語らいの場では、初めて顔を合わせる友もいて、卒業アルバムを引っ張り出して昔を懐かしみながら楽しいひとときを過ごしました。四年前のサブ期の時も、多くの友が道内・道外から多く集いました。来年度も三十五期の横のつながりを大切にし、人脉を広げながら多くの同期が集い合い、楽しく有意義な同窓会にして参りたいと考えております。どうぞ皆様よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、代々引き継がれてきたこの伝統ある同窓会と、母校のますますの発展を祈念いたしまして、次期当番期のあいさつとさせていただきます。